

国保料・水道料金の値上げの一方で100億円の新庁舎！

市民不在の「新築・統合」は白紙にもどせ！

日本共産党

景気の悪い状態が続いているので、
もう少し検討すべきではないでしょうか。

(市が実施した市民アンケートへの声)

市は来年度、国保料と水道料金の引き上げを計画しています。国保料は二年連続の約10%の引き上げで、市のモデル世帯(総所得一五八万、固定資産税五・三万、二人世帯)で年間二六、五〇〇円の負担増です。水道料金(鳥取・国府地域)は八%引き上げです。これは、市民の生

活の苦しさに追い打ちをかけるものです。その一方で、百億円の巨費を投じて市庁舎「新築・統合」をすすめる計画です。ある市民の「不景気の中考えられないというのが本当の気持ちです」との声は当然です。(市の市民アンケート報告書に掲載)



広がる市民の疑問・不満



市民の批判の声を伝える各新聞

□新築・改修のメリット・デメリットをもっと情報公開すべき。
□県庁のように耐震整備に予算を付け、もっと幅広い声を聞き市民の為に庁舎はどうあるべきか時間をかけて議論すべきだ。

市の耐震対策は「新築・統合ありき」のため、市民説明会や市民団体の意見交流会、市のアンケートにも多くの疑問、強い不満・批判が寄せられ、市民の憤りは収まるどころか、広がっています。一部紹介します。

市民アンケート

□アンケートに耐震改修の選択肢がないのはおかしい。

市のホームページ

□市役所がいまの場所からなくなったら、鳥取市の若桜街道はもはや鳥取市のメインスト

白紙にもどし、市民との合意形成に全力をつくせ！

いま、市民からは多くの疑問や意見に耳を傾けようとしていない市の姿勢に、強い不満と批判が広がっています。しかし、市長は、「新築・統合」の方針を三月中に決定しようとしています。これは、市民不在の「新築・統合」です。

私たち日本共産党議員団は、庁舎の耐震改修を求めています。

当面、市が強引に百億円の巨額な事業をすすめるようすることに対して、十分に市民と議論し、合意形成をおこなうことが大切と考えます。そのために、市庁舎の「新築・統合」を白紙に戻し、三月中の方針決定を延期するように強く求めます。



市に要請する3名の市議ら

日本共産党

市議団だより 2011年2月号

☎680-0842 鳥取市尚徳町116
市議会

☎0857-20-3335 (直通)
☎0857-22-7711 (議会)

ホームページ:

日本共産党鳥取市議団

<http://www.jcp-torishigidan.net/>

伊藤いく子議員 角谷敏男議員 田中文字子議員

☎21-5759 ☎26-3012 ☎84-3023

ご意見・ご感想をお寄せください。